

新年度予算案 5日間集中審議

5日間開かれた予算決算常任委員会



新設・拡充された福祉・暮らし予算

新年度予算で医療・福祉・教育・暮らし関連で新設・拡充された主なものを紹介します。

● 4月から高校卒業まで医療費無料化

県が「15歳から18歳までの医療費助成」を実施することから、甲賀市は自己負担分(1レセプト500円)を負担するため、高校生世代まで入院・通院とも、完全無料化となります。

● 3つの子育て支援無償化

①市内保育園でオムツを無償支給、②市内保育園での「一時預かり保育」の無償、③「病児・病後児保育」の無償化。3つの子育て支援無償化が実施されます。

● 75歳以上高齢者の無料健康診断拡充

75歳以上高齢者で長期入院・施設入所している人を除いて全ての人に「無料の受診券」が届きます。平成27年以降大幅に制限されてきたため、山岡議員が何度も問題点を指摘し、広域連合にも、厚生労働省にも直接要望してきた課題です。受診券を活用して健康チェックしましょう。

● 加齢に伴う難聴者の補聴器購入に補助

加齢に伴う難聴者が補聴器を購入する場合に、最大2万円の補助を行う制度です。但し市民税非課税世帯が対象です。かつて同主旨の請願に賛成したのは日本共産党でした。議員団として何度も質問を重ねましたが実現せず、山岡議員が「手話言語・情報コミュニケーション促進条例」を活用して支援するべきではないか、と提案したことから実現への道を開きました。

● 甲南町深川地先 砂川廃川整備へ

甲南町深川地先を流れる砂川。新川ができたのに旧河川の廃川処理がされていない問題と周辺の整備・安全対策をするべきと山岡議員が一般質問で取り上げました。当時「甲南駅周辺整備のなかで改修する」と約束していたものです。新年度に設計し、その後具体化します。

山岡光広議員 積極的に発言 問題点を指摘

●：新年度から区及び自治会が管理する防犯灯の電気代・新設・維持管理経費が市の負担となります。それに伴い自治振興交付金のうち基礎交付金が減額となります。本来なら自治振興交付金額が規定されている「自治振興会規則」を変更しなければなりません。正しく変更されていない点を指摘。年度内に変更することになりました。

●：新年度から一時預かり保育・病児病後児が無償となりますが、利用料を定める条例は変更せず「免除」扱いで対応しようとしていることに山岡議員は「追加議案として条例の一部改正するべきではないか」と主張。市は「六月議会にて提案する」と回答。

●：JR草津線利用促進業務委託という名目で、市内周遊ツアーや観光パンプの製作などに500万円を計上していることに「令和5年度でも1320万円を予算化しているが、実際に利用増強にどれだけ結びついているのか。その検証を行い、もっと効果的な施策を講じるべきではないか」と提案。

●：児童クラブでAIドリルの学習を進める「放課後児童クラブ学習支援補助」(年間169万円)モデル事業が新年度では廃止されました。山岡議員は「議会でも大きな問題になった事業。廃止はいかが、総括をすべきではないか」と指摘。市は「事業化に十分な検討が必要だった」と述べました。

原発のない社会へ。今年も3月9日、大津の膳所公園でびわこ集会が開かれ、デモ行進しました(写真)。



国保税引上げやめよ

県が令和9年度から県内市町の国保税(料)を統一しようとしている問題で1月19日、日本共産党滋賀県地方議員団「引き上げはやめよ」と申し入れ、交渉しました(写真)。

